

This Page Is Inserted by IFW Operations
and is not a part of the Official Record

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images may include (but are not limited to):

- BLACK BORDERS
- TEXT CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- FADED TEXT
- ILLEGIBLE TEXT
- SKEWED/SLANTED IMAGES
- COLORED PHOTOS
- BLACK OR VERY BLACK AND WHITE DARK PHOTOS
- GRAY SCALE DOCUMENTS

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

**As rescanning documents *will not* correct images,
please do not report the images to the
Image Problems Mailbox.**

公開実用平成 4-4473

⑩ 日本国特許庁(JP)

⑪ 実用新案出願公開

⑫ 公開実用新案公報(U)

平4-4473

⑬ Int. Cl.⁸

識別記号

片内整理番号

⑭ 公開 平成4年(1992)1月16日

H 04 N 5/44
G 10 K 15/04
H 04 M 1/00

H 04 N 11/00
5/445
5/60
7/14

3 0 2 A
F
L
V

3 0 3 Z
Z
8943-5C

7037-5C
8842-5H
7117-5K
7117-5K
7117-5K
7037-5C
6957-5C
8943-5C

審査請求 未請求 請求項の数 1 (全 頁)

⑮ 考案の名称 テレビ受像機

⑯ 実 願 平2-45223

⑰ 出 願 平2(1990)4月27日

⑱ 考 案 者 岩 本 美 代 子 神奈川県川崎市高津区末長1116番地 株式会社富士通ゼネラル内

⑲ 出 願 人 株式会社富士通ゼネラル 神奈川県川崎市高津区末長1116番地

明 細 書

1. 考案の名称

テレビ受像機

2. 実用新案登録請求の範囲

テレビ受像機において、電話機の着信を検出する着信検出部と、検出部よりの信号により文字パターンデータを発生する文字パターン記憶部と、発生した文字パターンを生成する文字パターン発生部と、生成した文字パターンとテレビ受像機の映像信号を合成する画像合成部と、前記検出部よりの信号により音声信号を発生する音声メッセージ記憶部と、発生した音声信号を合成する音声合成部と、合成された音声信号とテレビ受像機の音声信号をミュートして混合するミュート・混合部と、前記着信検出部、文字パターン記憶部、文字パターン発生部、音声メッセージ記憶部および音声合成部を制御する制御部とを備えたことを特徴とするテレビ受像機。

3. 考案の詳細な説明

〔産業上の利用分野〕



1006

本考案は、電話の着信をテレビ受像機にて報知するものに関する。

〔従来 of 技術〕

従来、電話の着信を知らせるベル音が鳴り、そのベル音を聞いて電話の着信があったことを知るのが一般的であった。テレビ受像機を観ている時に、電話の入信があると入信を知らせるベル音が聞こえないことをさけるために、テレビ受像機の音声をミュートするものがあった。しかし、電話のベル音が鳴っても全く聞こえない場所でテレビ受像機を観ている場合には、電話の入信が有っても分からない等の問題があった。

〔考案が解決しようとする課題〕

近來、生活のスタイルや思考が変わってきており、便利さを求める人が増加している。本考案は、上記従来 of 技術の問題点に鑑みなされたもので、視聴中のテレビ受像機にて電話の着信を報知する装置を提供するものである。

〔課題を解決するための手段〕

上記目的を達成するために、テレビ受像機にお



いて、電話機の着信を検出する着信検出部と、検出部よりの信号により文字パターンデータを発生する文字パターン記憶部と、発生した文字パターンを生成する文字パターン発生部と、生成した文字パターンとテレビ受像機の映像信号を合成する画像合成部と、前記検出部よりの信号により音声信号を発生する音声メッセージ記憶部と、発生した音声信号を合成する音声合成部と、合成された音声信号とテレビ受像機の音声信号をミュートして混合するミュート・混合部と、前記着信検出部、文字パターン記憶部、文字パターン発生部、音声メッセージ記憶部および音声合成部を制御する制御部とを備えたことを特徴とするテレビ受像機を提供するものである。

〔作用〕

上記の構成によれば、電話の着信があった場合、着信信号を検出して、文字パターンまたは音声信号を発生させ、発生した文字パターンを生成して複合映像信号にし、テレビ受像機の映像信号と合成して、テレビ受像機から電話の着信を報知する。



音声信号の場合は、発生した音声信号を合成し、合成された音声信号とテレビ受像機の音声信号をミュートして混合して、テレビ受像機から電話の着信を報知する。

〔実施例〕

本考案の実施例を添付図面を参照して詳細に説明する。第1図は本考案による一実施例のブロック図である。

図において、1は電話機で、着信があった場合着信検出部2で呼出信号を検出し、データケーブル10を介し検出信号を制御部3に伝送する。3は制御部で、検出信号にもとづいて文字パターン記憶部4と音声メッセージ記憶部5のどちらか、または両方を制御して信号を読み出す。6は文字パターン発生部で、文字パターン記憶部4からの文字信号と同期信号とで複合映像信号を作る。8は音声合成部で、音声メッセージ記憶部5で読み出した信号から音声信号を合成する。12は同期部で、水平・垂直同期信号をテレビ受像機から取り出し所定の回路に送出する。11はチューナ部



で、選定チャンネルを受信して受信信号を送出する。13は第1映像増幅部で、受信信号を増幅し、映像信号と音声信号を送出する。7は画像合成部で、第1映像増幅部13からの映像信号と文字パターン発生部6からの映像信号を合成する。14は第2映像増幅部で、画像合成部7からの映像信号を増幅する。15は表示部で、映像信号を表示する。9はミュート・混合部で、第1映像増幅部13からの音声信号をミュートし、音声合成部8からの音声信号と混合する。16は音声増幅部で、音声信号を増幅する。17はスピーカで、音声信号を音声に変える。

以上の構成において、電話が着信すると着信検出部2にて呼出信号を検出し、検出した検出信号をデータケーブル10を介し制御部3に伝送する。テレビ受像機から電話の着信を知らせる方法として、文字パターンを画面表示する方法と音声スピーカから出す方法がありどちらか一方もしくは両方の方法を使用する。この選定は使用者がマニュアルで事前に設定しておく。例として、文字パ



ターンと音声の両方で表示する場合について以下に説明する。検出信号を受信した制御部 3 は設定されているモードにしたがって文字パターン記憶部 4 と音声メッセージ記憶部 5 の両方を制御してそれぞれの記憶部から信号を読み出す。文字パターン発生部 6 は文字パターン記憶部 4 からテレビ受像機の表示部に電話の着信を知らせる案内文字を出すために、例えば、「只今電話が掛かっています」の文字信号を取り込み、同期部 12 からの同期信号とを複合化して、映像信号に変換し、画像合成部 7 にてテレビ受像機からの映像信号と合成する。そして、第 2 映像増幅部 14 を介し表示部 15 にて映し出す。

さらに、音声メッセージ記憶部 5 からテレビ受像機のスピーカに電話の着信を知らせる案内音を出すために、例えば、「只今電話が掛かっています」の信号を取り込み、音声合成部 8 で音声信号に合成し、ミュート・混合部 9 に入力する。ミュート・混合部 9 は第 1 映像部 13 からの音声信号をミュートし、音声合成部 8 からの音声信号と混



合する。混合された音声信号は音声増幅部 16 を介しスピーカ 17 から流される。

〔考案の効果〕

以上のように本考案においては、電話機から離れた場所でテレビ受像機を観ていて、電話のベル音が全く聞こえない場合、電話の対応ができない。このテレビ受像機では電話の着信があれば、画面に文字で表示し、音声で案内音を出すのですぐに電話の着信が分かり対応ができる。

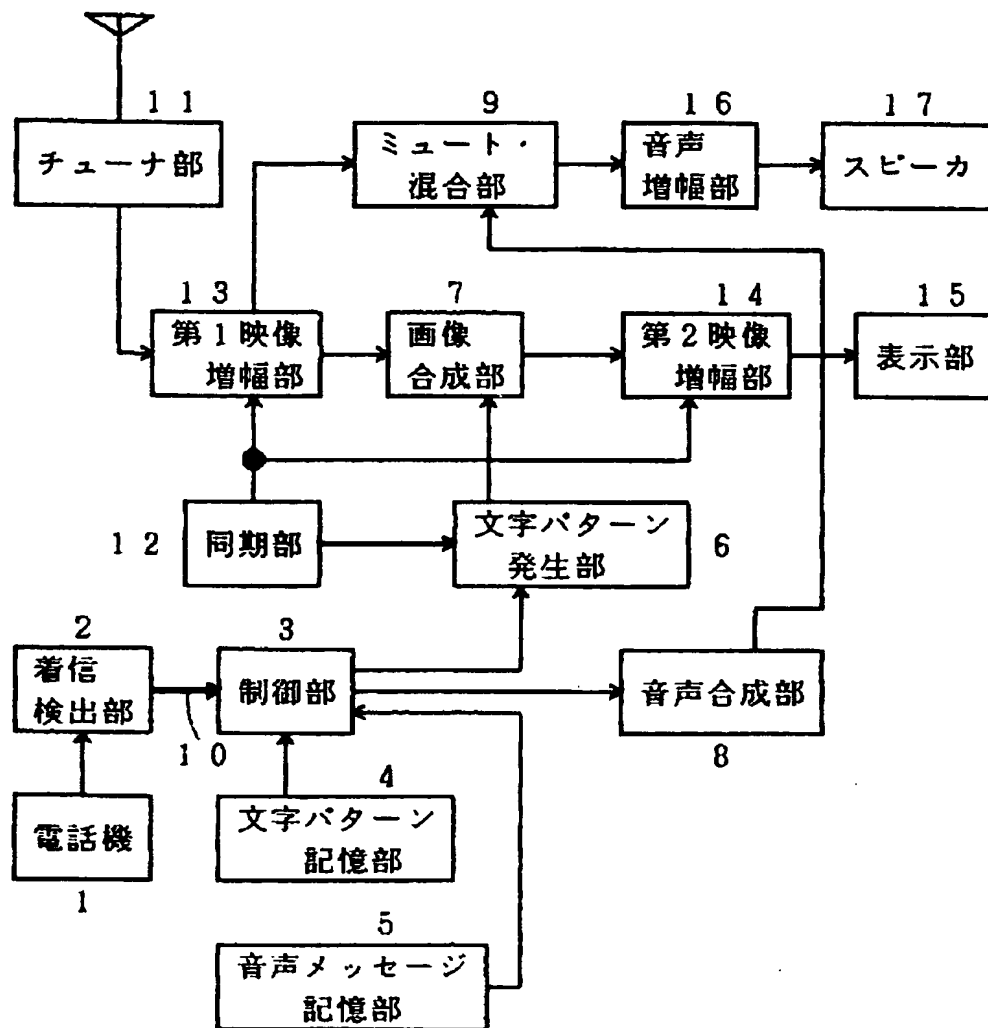
4. 図面の簡単な説明

第1図は本考案による一実施例を示すブロック図である。

図中、1は電話機、2は着信検出部、3は制御部、4は文字パターン記憶部、5は音声メッセージ記憶部、6は文字パターン発生部、7は画像合成部、8は音声合成部、9はミュート・混合部、10はデータケーブル、11はチューナ部、12は同期部、13は第1映像増幅部、14は第2映像増幅部、15は表示部、16は音声増幅部、17はスピーカである。

実用新案登録出願人 株式会社富士通ゼネラル

第 1 図



実用新案登録出願人 株式会社 富士通ゼネラル 1013

実用新案 4-4473